

平成28年度懇話会（南河内） 検討結果まとめ

①医療資源充実	<ul style="list-style-type: none">➤ ニーズ把握・機関連携・情報提供や相互理解の場づくりが必要➤ 特定の医療従事者に負担が偏っている (人材育成のための取り組みに参加しない人もいる)
②緊急時対応のための24時間提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none">➤ 急変時対応や退院調整のルール作り (医師会単位、市町村単位を越えて)
③診療所等への後方支援	<ul style="list-style-type: none">➤ 関係者が連携し、方針を理解・共有・統一させる必要あり (病院にも在宅医療の現状を知ってもらう必要あり)➤ 仕組みづくり (府や市町村レベルで対診に対してのインセンティブ、広域人材バンク、副主治医制、ICT化等)
④在宅医療介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none">➤ (ウ)の実施状況：4市町村/9市町村

今後の取組み（事務局案）

○短期（3年後）までに

➤ 市町村単位・郡市区医師会単位での取組みが困難な課題を抽出・取組み計画作成

➤ 退院調整のルール作り

【目標】病院から地域へ退院する際、スムーズに機関調整し地域での受け入れができる

○中期（6年後）までに

➤ 緊急時の患者受入れ体制整備

【目標】急変時の受入れ体制が地域ごとにでき、必要時スムーズに患者が入院できる

（必要に応じて市町村・医師会単位を越え機関調整・ルール共有）